

中村小学校学校だより No3



～ひかり～

5月生活目標：大きな声で相手を見てあいさつしよう 平成29年5月16日 文責：校長宮崎

楽しかった遠足～仲よく遊び、はじける笑顔～

4月28日（金）は、1年生の歓迎遠足で下田公園に行きました。晴天に恵まれたことも幸いでしたが、遠足で下田の公園に来ていたのは、中村小学校だけでしたので、広い公園で、子ども達は思いっきり遊び、友達との楽しい時間を満喫できました。1年生を楽しませようと、6年生がレクレーションを考えたり、5・6年生が安全面に気を配って下級生をトイレまで手を引いてくれたりと、優しさと気配りのできる上級生の姿に、頼もしさと優しさを感じました。



おいしいお弁当。ファミリーで仲よく。



6年生が考えてくれた遊びに大歓声。



滑り台は大混雑の大人気。



ファミリー対抗綱引き大会。応援もすっかり

子供の読書活動実践校「文部科学大臣表彰」受賞

中村小学校は、子供の読書活動優秀実践校として、四万十市教育委員会及び高知県教育委員会からご推薦いただき、このたび栄えある文部科学大臣表彰を受賞いたしました。

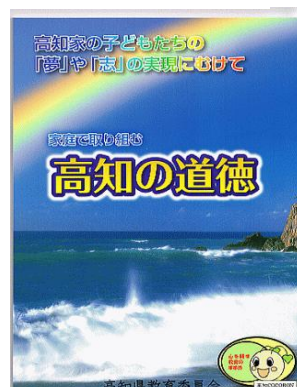


学校図書館は、学校教育の目的達成と充実を目指して設けられた学校施設で、「学校教育の中核」たる役割を果たすことが期待されています。そのような位置づけの中、本校の児童が、積極的に読書活動を行う意欲を高める活動について、文部科学省より高く評価していただいたことは、大変光栄で、名誉あることです。今回の受賞は、本に親しみ積極的に本を読み、様々な活動に意欲的に取り組んできた児童はもちろんのこと、

ご家庭で応援して下さった保護者の方や、朝読書の読み聞かせに来ていただいているボランティアの皆さん、中村小の児童のためにと毎年本を寄贈して下さっている方、もちろん本校の教職員、たくさんの方々の支えがあつてのことですから、みんなの力、「チーム中村小」で受賞できたものだと思います。読書は、子どもの将来を左右する基礎を築くもののひとつであると言われていています。語彙・言語能力の発達が促されることや、集中力が身についたり、想像力・感受性が豊かになります。またストレスの解消につながったり、他の人の気持ちがわかるようになっていきます。読書をするとうまいことづくしですね。今回の受賞を励みに、更に読書活動に力を入れて取り組んでいきたいと思ひます。

家庭は子どもが育つ基盤 「家族の温かい言葉を」

家庭は、子どもの豊かな心や人間性を育むうえで重要な役割を担っています。自分が大切にされているという実感は、「家族の温かい言葉」から生まれます。そこから、「自信」や「他の人ともよりよく生きていこう」とする前向きな姿勢も生まれてきます。一方で間違つた行為に対しては、毅然とした態度で叱ることも必要です。大人が真剣に善悪の判断を示すことは、子どものよりよい成長を願う行為であり、子どもの人格を大切にすることにほかなりません。ぜひ、ご家庭で、子どもと向き合い、夢や希望、悩みなどを語り合う時間をもつていただきたいと思います。その際に、これまでに各家庭に配付しております「高知の道徳」(平成23年高知県教育委員会発行)を開いていただきながら、お話ししていただきますようお願いいたします。



6月24日(土)は道徳参観日です。ぜひおいでください。